

公益社団法人

# 福岡県作業療法協会会報

第129号 平成29年10月15日発行

(事務局)

〒802-0044 北九州市小倉北区熊本1丁目9-1 ONE OFF第2ビル101号

TEL 093-952-7587 発行責任者 志井田 太一 編集責任者 許山 勝弘

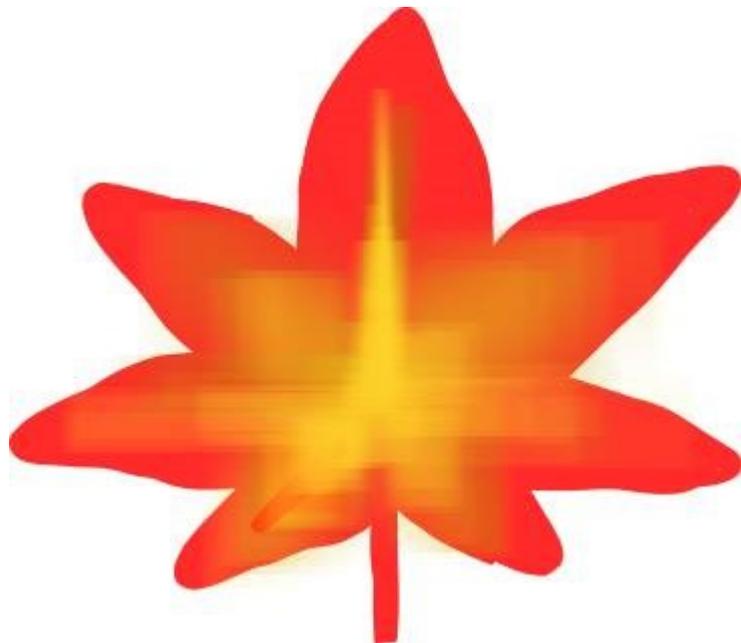
ホームページアドレス：<http://www.fuku-ot.org/>



特集：糸島市における自立支援型地域ケア会議への参加と  
その他の総合事業への取り組み

# 目次

巻頭言：わが国の新たな福祉サービスのこれから 副会長 濱本 孝弘（医療福祉センター聖ヨゼフ園）	・・・1
会長行動	・・・2
特集： 糸島市における自立支援型地域ケア会議への参加と その他の総合事業への取り組み まえばる老健センター 松山 拓史	・・・3
理事会議事録	・・・8
各部・委員会からのお知らせ	・・・12
Occupation： 医療法人優なぎ会 雁の巣病院 川上 仁公	・・・17
リレーエッセイ： 北九州中央病院 中村 綾香	・・・18
会員動向調査	・・・19



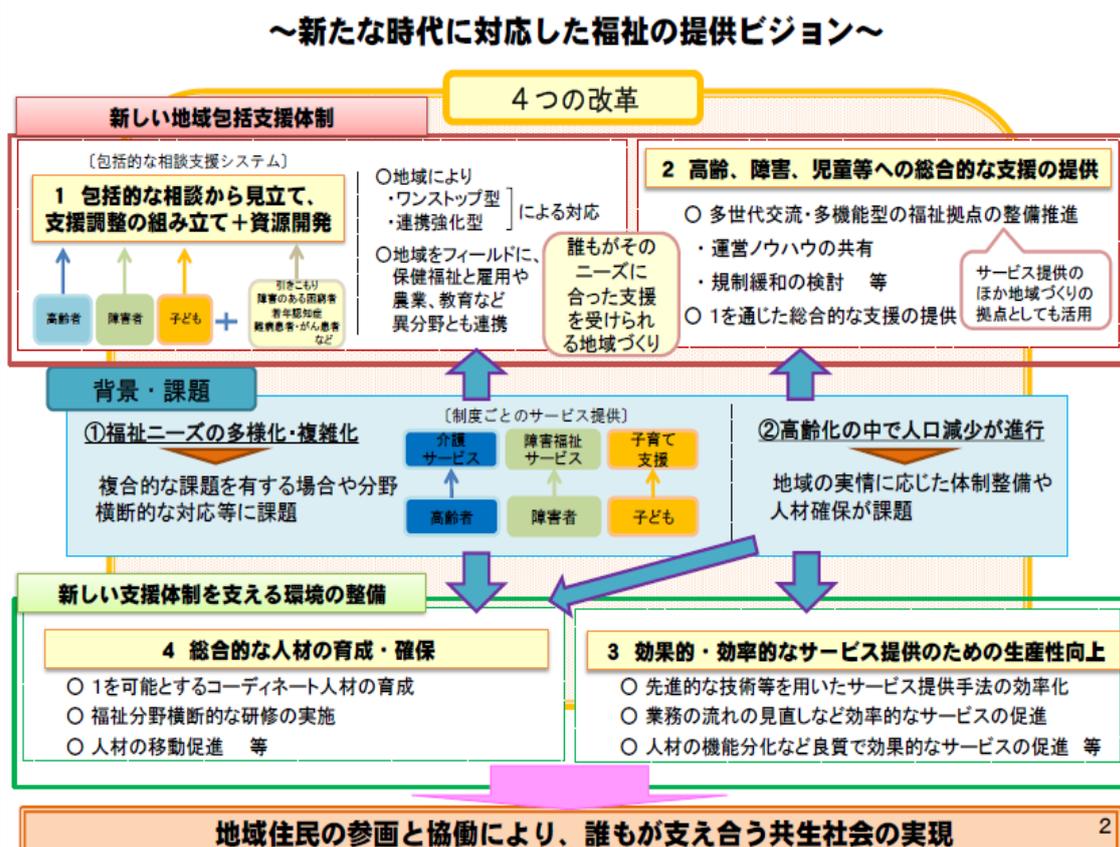
会員の皆さんは、”我が事・丸ごと地域共生社会の実現”というフレーズをご存知でしょうか？人口減少、高齢社会などにおける様々な地域課題を我が事として受け止め、年齢や障害の有無に制限されず、分野を超えて効率的に問題を解決できるそんな共生の社会を作ろうというものです。これは、使い方によっては、障害を抱えながら生きる方々がその力を発揮できるチャンスだと考えています。

今までの国の施策は、縦割りで手続きが多く非常に使いづらかったのですが、今回の施策は縦割りの制度に横串を刺していくようなものです。例えば、都心部の空家問題は国土交通省が主体で行っていますが、そこに保育所を作れるようにしたり、認知症カフェを展開できるようにすれば厚生労働省の課題解決に近づくといったものです。もっと言えば、一人暮らしの高齢者宅に、医療や福祉系の学生を住ませ、ゴミ出しや電球換えなどは学生が行い、高齢者の方は朝食や夕食を作るなどお互いにメリットに繋がるように工夫する。そういった経験を積んだ学生は地域医療や福祉に興味を抱き医療や福祉人材の確保にもつながる。いいとこ取りの夢のような話ですが、これを実現できているところがあるのです。市町村の抱える地域課題に作業療法士として協力していくことは当然ですが、更に政策にまで入っていくことも可能なのではないでしょうか？

興味のある方は、まず、平成27年9月厚生労働省「新たな福祉サービスの支援システム等のあり方検討プロジェクトチーム」からの報告（下図）を読んでみてください。新たな地域包括支援体制において、4つの改革を進めるとしています。

- 1 包括的な相談から見立て、支援調整の組み立て+資源開発
- 2 高齢・障害・児童等への総合的な支援の提供
- 3 効果的・効率的なサービス提供のための生産性向上
- 4 総合的な人材の育成・確保

今まさに国が動いている方向性です。会員の皆さんが今まで対象者とともに経験してきた貴重な体験を地域課題の解決に役立てるチャンスだと思います。こういった話に興味がある会員の方はいつでもご連絡ください。



## 会長行動（平成29年7月～9月）

- |    |     |  |
|----|-----|--|
| 7. | 1.  | 一般社団法人日本作業療法士協会 47都道府県委員会 出席                             |
|    | 2.  | 場所：TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター                                  |
| 7. | 7.  | 平成29年度介護予防事業従事者研修会 出席                                    |
|    |     | 場所：吉塚合同庁舎  |
| 7. | 14. | 公益社団法人 福岡県作業療法協会 平成29年度 第2回三役会 出席<br>(第1回九州作業療法学会 事前打合せ) |
|    |     | 場所：福岡県作業療法協会 事務所   |
| 7. | 24. | 第12回日本訪問リハビリテーション協会学術大会第2回準備委員会 出席                       |
|    |     | 場所：パインビル（北九州市小倉北区）                                       |
| 7. | 29. | 日本作業療法士協会制度対策部「平成29年度生活行為工夫情報モデル事業」<br>事業説明会 出席          |
|    |     | 場所：TKP博多駅筑紫口ビジネスセンター                                     |
| 8. | 7.  | 平成29年度 公益社団法人福岡県作業療法協会 第3回理事会 出席                         |
|    |     | 場所：福岡医健専門学校  |
| 8. | 23. | 第12回日本訪問リハビリテーション協会学術大会 第4回全体会議 出席                       |
|    |     | 場所：パインビル（北九州市小倉北区）                                       |
| 8. | 24. | (次期)北九州市障害支援計画のあり方懇話会 第2回第二部会 出席                         |
|    |     | 場所：北九州市庁舎  |
| 9. | 2.  | 福岡県介護予防市町村支援事業にかかるリハビリテーション専門職向け説明会 出席                   |
|    |     | 場所：福岡県中小企業振興センター   |
| 9. | 9.  | 一般社団法人日本作業療法士協会 地域包括ケアシステム推進委員会主催                        |
|    | 10. | 「地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会」出席                  |
|    |     | 場所：TKP御茶ノ水カンファレンスセンター                                    |
| 9. | 12. | 福岡県作業療法協会 地域包括ケアシステム推進会議 出席                              |
|    |     | 場所：福岡医健専門学校  |
| 9. | 22. | 第51回日本作業療法学会 参加  |
|    | 23. | 場所：東京国際フォーラム   |



## 糸島市における自立支援型地域ケア会議への参加とその他の総合事業への取り組み

まえばる老健センター 松山 拓史  
青洲会クリニック 理学療法士 島山崇文

### はじめに

糸島市では現在15名のセラピスト（内訳は、作業療法士4名、理学療法士11名）が自立支援型の地域ケア会議に参加している。今回糸島市での地域ケア会議への参加と、その他の総合事業へのリハビリ専門職としての取り組みを報告する。

### 糸島市の地域ケア会議の概要

糸島市は、平成22年1月1日に、旧前原市、旧糸島郡二丈町、旧志摩町の1市2町が新設合併された。人口約10万人で、高齢化率は26.8%（平成27年）である。市内は5つの日常生活圏域に分かれており、各圏域に地域包括支援センター（以下、包括）が1箇所ずつ配置されている（図1）。

日常生活圏域	小学校区	高齢者数(高齢化率)
前原東	波多江・東風・怡土	5948人(21.7%)
前原	前原南・長糸・雷山	3841人(26.2%)
前原西	前原・南風・加布里	6480人(23.1%)
志摩	可也・桜野・引津・姫島	4962人(29.1%)
二丈	一貴山・深江・福吉	4012人(31.3%)

2014.9時点

図1 各日常生活圏域と高齢者数

糸島市では以前より、地域ケア会議は開催されていたが、平成28年4月より各包括で自立支援型及び困難事例型の個別課題の地域ケア会議が開催されるようになり、前者の自立支援型の地域ケア会議に、アドバイザーとして作業療法士・理学療法士（以下、リハビリ専門職）も出務する事となった。会議の頻度は、自立支援型地域ケア会議が各圏域で2回/月、困難事例地域ケア会議が各圏域1回/月開催されている。

自立支援型の地域ケア会議の開催回数は、平成28年4月～10月実績で、5圏域合計105回で、検討件数は249件である。平均件数は1回あたり2.4件ということになる。平成28年度は10名のリハビリ専門職（内訳、作業療法士1名、理学療法士9名）で、平成29年度からは15名（内訳、作業療法士4名、理学療法士11名）で出務に当たっている。

検討される事例は、要支援認定者もしくは総合事業対象者（基本チェックリストで当てはまる方）を中心に、生活不活発病や様々な疾患で心身機能が低下し、外出など活動と参加に制限をきたしている等の課題を有した方である。そして、どうすれば生活課題が改善し、その方の自立を支援

できるのかを多職種で検討している。目的として、ケアマネジャーのケアマネジメント能力の向上を目指し、ケアマネジメントの課題の抽出から目標設定及びその目標を達成するための手段を選択する一連の流れを、多職種協働で解決していくものである。

参加者は糸島市職員（介護高齢者支援課）、包括職員（担当介護支援専門員）、アドバイザーとしてリハビリ専門職、栄養士、歯科衛生士で構成され、必要に応じ、居宅介護支援事業者、サービス提供事業者も参加する場合もある。当日の会議の資料としては、利用者基本情報、生活機能評価、基本チェックリスト、介護予防・サービス支援計画書に加え、圏域毎に服薬や血液検査データなどがある場合もある。それらの情報をもとに検討を行っている。

### 地域ケア会議について

介護保険サービスの間違った認識として、利用者ご自身の出来ない点に対する補完的なお世話型サービスプランの立て方である。目標を立てず目の前の不自由なことを手伝うだけの介護は、日常生活の中で体を動かす機会を奪い、生活不活発な状態を生む事となる。介護保険法第4条において「国民は、自ら要介護状態となることを予防するため、加齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して常に健康の保持に努めるとともに、要介護状態となった場合においても、進んでリハビリテーションその他の適切な保健医療サービス及び福祉サービスを利用することにより、その有する能力の維持向上に努めるものとする」と規定されている。また介護予防とは個々の高齢者の生活機能（活動レベル）や参加（役割レベル）の向上をもたらし、それによって一人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みを支援して、生活の質の向上を目指すものとされている。ADL・IADLの出来る事と出来ない事の能力を評価して、出来る事は自身で行い、出来ない事を生活の中で、出来るようにしていく事が介護保険の基本理念である。その為、ケアマネジャーが立てるケアプランが自立支援、社会参加に結びついているかを点検し、ケアマネジャーや事業所のアセスメント力を引き上げに繋がるための助言が求められている。

### 資料の読み込みから助言までについて

読み込み時間は5分程度である。利用者基本情報や介護予防・サービス支援計画書、服薬情報より医学的情報や生活背景を出来る限り把握する。生

活機能評価より支援を要しているADL・IADLに対する身体機能や認知機能、廃用の影響や、動作意欲の有無を整理する。中でも生活機能評価について時間をかけて読み込むようにしており、その一部を紹介する。

一事例の検討を30分～40分で終わることを目標とするため、1回の地域ケア会議2時間の中では、2～3事例を検討する。それに加え、過去に検討した事例の経過報告を1～2事例行うこともあるため、限られた時間の中で、結論まで出さなければならない。

地域ケア会議当日の流れは、まず司会者（糸島の場合は包括職員）が、配布資料の説明を行う。その後1事例目の検討にうつるが、圏域によって多少異なるが、資料を読み込む時間はほとんどないまま、プラン作成者よりケースの概要説明がスタートする。そのため、会議当日は10分～15分前には到着して、事前に資料の読み込みを行う必要がある。

ケースの概要説明が終わると、質問の時間が7～8分あるため、目標設定や予後予測を行う上で、不足している情報があれば、ここでしっかりと情報を得る必要がある。アドバイザーや市役所からの質問が一通り出たあとは、アドバイザーからの助言の時間が7～8分ある。この助言の時間で、自立支援に繋がる発言を行っていくことになる。そして、最後に司会者がこれまで出た意見をまとめて、1事例目が終了となる。

限られた時間の中で自立支援に繋がる助言をするために必要なことは、与えられた情報を整理する力にある。配布資料を読み込むための時間がない中で、情報を読み取るためには、我々が会議に参加している目的をしっかりと認識する必要がある。目的は自立支援であり、そのためには「予後予測」と「目標到達の手法の提示」を行うことが我々の参加している理由である。

全ての情報に目を通すことは困難であるため、配布された情報の中で、一番重要な、生活機能評価に初めに目を通すことが大切である。ここにその方のADLやIADLの状況と、ケアマネジャーがサービスを導入することで何を改善しようとしているのかを把握出来る。おおまかに情報が把握できたら、利用者基本情報やサービス支援計画書などをチェックしていく。これらの情報に加え、基本チェックリストや服薬情報などで、身体機能や認知機能、これまでの経過や生活背景、医学的情報や廃用の有無と、その方の運動の意欲の有無を出来る限り把握する。ここまで把握をした上で、もう一度、生活機能評価に戻り、ケアマネジャーが判断したADLやIADLの改善の可能性（予後予測が妥当なのか）を見て、それを改善するための目標設定がなされているのか、またその目標を達成するための手段が提供される計画になっているのかを確認していく。

生活機能評価の改善項目が複数ある場合は、ご本人の希望を確認した上で、課題に優先順位をつ



図2 地域支援事業の全体像(文献3より転載)

け、どの動作項目から支援することが自立支援につながるのかを考える。ここでのご本人の希望とは、「何をしてほしいのか」といった「要望」ではなく、「何ができるようになりたいか」「何をしたいのか」といった解決すべき「課題」であることが重要なことである。

予後予測で注意しなければならないことは、疾病の予後予測を行うのではなく、生活機能の予後予測を考えることである。その為に必要なのが、これまでの経過や医学情報であるが、会議資料から不足している場合がある。例えば、運動リスクの有無、膝や腰等の整形疾患の治療状況や生活における禁忌事項等、生活機能の予後予測をする上で必要な場合は、かかりつけ医との情報交換を具体的に助言することもある。

地域ケア会議で、自立支援を考える場合、すべての事例を自立にしなければならないと考えるのはならない。例えば、何からかの理由で閉じこもりになり、廃用に陥っているケースでは、一定期間の支援により自立に繋がるケース（期間的自立支援）がある。しかし、難病や進行性疾患の方においては、ADL・IADLが現在出来ていてもそのうち出来なくなる可能性を含めての支援が必要なケース（永続的自立支援）もある。期間的自立支援な

のか、永続的な自立支援なのかを見極めた上で助言を行う事、そしていずれのケースにおいても、介護保険の理念のもとに、能力の維持向上に向け、加齢や疾病に伴い使わなくなってしまう機能の衰え、本来持ち得るその方の能力の低下を防ぎ、要支援者の重度化を防ぐ視点からも、自立支援を行うことは大切な事であると考えられる。

専門職が協働で自立支援に向けたプランの検討において、他職種協働での問題解決に向け優先順位を考えなければいけないこともある。

【事例】脳梗塞後遺症を呈し、高血圧、BMI高値の肥満傾向による運動リスクのあるケース。時間をかけて何とか家事を行っている、不安定ながらも杖や伝い歩き、浴槽の跨ぎが不安でシャワー浴、歯は義歯が必要な状況であるが通院歴が現在無いケースとする。リハビリ専門職として、ADL・IADLの課題を、環境調整の必要性と身体機能面での要因と改善に向けた運動プランやサービス利用の助言が必要なケースであった。しかし既往歴や高血圧などを読み取りリスクマネジメントの観点から考えると、栄養士による、普段の生活習慣である食事指導や体重コントロールが優先課題と考えられた。しかしその為には、きちんと食事摂取を行うための歯科衛生士による義歯など口腔内の課題解決が同時に優先と考えられたケースを経験した。

地域課題についても同時に検討している。要支援者にとってADLではなくIADLに課題を葉ね鞘持つケースも多い。ADL自宅周辺に坂道が多く、杖歩行に不安定さがあり、また長距離歩行困難で、スーパーまでは距離が遠く、買い物に支援が必要なケースがあった。会議において移動販売を行っているスーパーにご自宅周辺に販売の移動を依頼して解決したケース、ご家族と一緒に買い物に行くが、広いお店の中を杖移動するだけの持久力の無いケースでは、スーパー内に車椅子の常備設置の打診、糸島市社会福祉協議会へ設置可能な車いすの確認等、行政や包括職員が参加する会議ならではの地域課題の解決に向けた検討もなされている。

訪問型サービス

種類	現行の訪問介護に相当するサービス	多様なサービス	
		訪問型サービスA (緩和した基準によるサービス)	訪問型サービスC (短期集中予防サービス)
事業名	訪問介護(ホームヘルプ)	シルバー援助	チャレンジ訪問
サービス内容	ヘルパーによる 身体介護、生活援助	シルバー会員による 生活援助	理学・作業療法士、管理栄養士、 歯科衛生士等の 専門職による訪問指導
実施方法等	訪問介護事業所 (みなし指定)	シルバー人材 センターへの委託	福岡県理学療法士協会等の 各専門職団体

図3 糸島市の介護予防・生活支援サービス

通所型サービス

種類	現行の通所介護に相当するサービス	多様なサービス	
		通所型サービスA (緩和した基準によるサービス)	通所型サービスC (短期集中予防サービス)
事業名	通所介護(デイサービス)	生きがいデイ教室	運動チャレンジ教室
サービス内容	生活機能向上を目的とした通所事業	自立を支援する運動やレクリエーション等を提供する通所事業	理学療法士等の専門職による運動、生活機能向上を目的とした通所事業
実施方法等	通所介護事業所 (みなし指定)	社会福祉法人	糸島医師会 医療機関への委託

図4 糸島市の介護予防・生活支援サービス

団体名	職種	支援内容
福岡県理学療法士協会	理学療法士	①自宅で行う運動の指導
	作業療法士	②手すりや段差等の状況確認 ③自宅状況を確認し、転倒予防等留意事項の助言
福岡県栄養士会	管理栄養士	①食生活状況
	栄養士	②糖尿病等の疾病に応じた食事指導 ③噛む力や飲み込み状況に応じた食事指導
糸島市歯科医師会	歯科衛生士	①お口の中の確認
		②口腔ケアに関する指導
		③口腔機能向上に向けた指導

平成29年度糸島市志摩圏域介護予防ケアマネジメント研修テキスト、2017より引用

図5 訪問型サービスC チャレンジ訪問

## 助言者としての反省点

反省点を幾つか列挙すると、思うことの多くを言えずに終わってしまった、質問することに終始してしまった、助言が具体的でなかった、課題に対する助言ばかりを考えすぎてしまう等を経験した。

地域ケア会議に助言者として参加することの目的は、ケアマネジャーのケアマネジメント能力の向上が目的の主である。しかしながら佐藤によると「地域ケア会議が開始されたことで、OTは丸裸にされたと考えている」と述べている。今までの施設内で、限られた専門職のみで仕事をしていたが、ケア会議では市町村職員、包括職員、介護支援専門員、他の専門職等が参加している中で、OTとして有効な助言ができれば、専門性を理解される絶好の機会となる。同時に、無効な助言であれば、逆に専門性を問われる立場にもあるとも感じている。その為、心がけていることは、作業療法士として正しいアセスメント、活動・社会参加を付加した生活行為の実践課題に対する目標設定、具体的なプランの提案である。加えてリハビリ専門職としての視点と知識を、可能な限り専門用語を使わずに、決して上からの目線や、指導的な発言とならないように毎回留意しながら参加をしている。しかしながら、短時間で書面から生活の全体とニーズを掴む力、要点を絞り簡潔に話す力、相手の意見を尊重しながら自分の意見を話す技術をなど、課題とする部分は多く感じている。助言の結果については、相手の表情や司会者の最後のまとめで、相手への伝わり具合が確認できるので、伝わっていない場合は、反省とともに助言者としての課題整理が必要と考える<sup>5)</sup>。

## 総合事業の位置づけ

2014年(平成26年)に介護保険制度が改正され、全国一律の予防給付(通所介護・訪問介護)を市町村が取り組む地域支援事業(図2)に移行し、住民等、多様な担い手による多様なサービスの提供ができる介護予防・日常生活支援総合事業(以下、総合事業)が創設された。厚生労働省が示した趣旨では「総合事業は、市町村が中心となって、地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで、地域で支え合う体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを目指すもの。」としている。要支援者等の多様な生活支援のニーズに対して、市町村は地域の実情に応じ、多様なサービスを提供していかなくてはならない。国は典型的なサービスの類型と基準を示し、準備を促している。またサービス内容は可能な限り住民主体の支援に移行していくこと、ケアマネジメントにより利用者の自立支援に資する支援を提供することとされている。

## 糸島市における介護予防・日常生活支援総合事業(以下「総合事業」)への取り組み

糸島市においても平成28年より幾つかのサービスが既に開始されている(図3)(図4)。その中でリハビリ専門職として取り組んでいる各サービスについて紹介する。

訪問型サービスにおいては、訪問型サービスC(短期集中予防サービス)のチャレンジ訪問が福岡県理学療法士協会へ委託され、地域ケア会議より各専門職の訪問が必要とみなされた事例において、月1回(最大6か月まで)訪問が必要とみなされた各専門職が訪問し、それぞれの専門的立場から直接利用者への指導によるサービス提供が実施されている。各専門職の支援内容については図に示している(図5)。この事業を提供するリハビリ専門職については、会議出席の出務セラピストが対応に当たっている。

通所型サービスにおいては、通所型サービスA(緩和した基準によるサービス)の生きがいデイ教室(以下、生きがい教室)が、市内5つの社会福祉法人に委託され、サービス提供が開始されている。各社会福祉法人が提供する生きがいデイ教室については、緩和された基準を基に、各法人の人員配置状況に応じて運営されているため、リハビリ専門職の関わり方やサービス内容についても、各法人独自の内容にて提供されている。生きがい教室の更なるサービスの向上や効果に繋がるよう、地域ケア会議出務者で関わらせて頂いた。

①運動機能に関わるアセスメント内容の提示、②筋力・バランス能力・柔軟性改善のための運動機能向上プログラムの提示、③自宅での自主トレ指導、④3ヶ月もしくは6ヶ月ごとの再アセスメントの実施を提案させて頂いた。これら、一連の流れが実施出来るように、平成28年11月～平成29年3月まで、月に1回程度関わらせて頂いた。これらの内容はリハビリ職として行えることは当然であるが、この事業に関わっているスタッフが、看護師・介護職の場合もあり、どの職種の職員の方でも、この一連の流れが運用が出来る内容になることが大事なことであった。今回関わらせて頂いた中で、一番難しかったのは、この事業に対し、リハビリ職として、自立支援を目標に関わったのではなく、転倒リスクを把握して運動機能向上を図ることを目標に関わったことである。なぜ、自立支援に関わることが困難であったのかというと、自立支援に関わる場合は、その方の自立を妨げている何らかの問題があり、その問題が改善するという予後予測のもと、目標設定がなされ、その目標を達成するための手段として、生きがい教室の

利用に繋がっている必要がある。つまり、適切なケアマネジメントがなされ、ケアプランで目標設定が決まっており、その目標に向かって、サービスが提供されていることが大事なことであった。それが自立支援に向けたサービス提供にはなるが、ここに一専門職として関わることは大変困難である。自立を妨げる原因も「運動機能」だけではなく、「IADL」「栄養」「口腔」「閉じこもり」「認知」「うつ」など様々な原因があること、また適切なケアプラン作成が行われているのかのチェックを行わなければならないこと、また適切なサービス提供がなされているのかのチェックを行わなければならないが、これら全てに対して関わることは困難であるため、今回は、転倒リスクを把握して運動機能向上を図ることを目標に関わらせて頂いた。

リハビリ専門職が関わるいずれの事業においても、大切なことは、効果がしっかりと認められる事である。その為、各事業のサービス内容と利用者との利用頻度、どういった方が対象となるのかを実際に見学に行くことも含めて考えたり、地域ケア会議出席者それぞれの考え方を整理し、実際の地域ケア会議の場で、しっかりと自立支援に向けた適切な発言が出来るように、日々研鑽していかなければならない。

### その他の活動内容

地域ケア会議出席者の助言能力の向上と、その質の統一を図ることを目的に事例検討会や、上記で示した訪問型及び通所型総合事業への対応や課題の検討、研修会の企画と運営について等を検討する会議をそれぞれ毎月実施している。またその他にも、出席者以外の糸島市内在住者及び病院等の事業所従事者向けに、地域ケア会議助言事業及び、糸島市における総合事業についての啓発の一貫として、平成27年度より在宅医療・介護連携コーディネーター育成研修を年2回、更にPTOTSTネットワークを設立し、不定期ではあるが研修会を開催し、進捗状況の情報共有化と協力リハビリ専門職者の拡大に向けた取り組みを行っている。

### 今後の展開

糸島市介護保険第6期事業計画のなかで、達成すべき指標の中に要介護者（支援者）から自立に至った件数40件（第5期事業計画）から400件（第6期事業計画）と掲げられている。地域ケア会議などにリハビリ専門職として関わる中で感じることは、従来までの、担当患者（利用者）への個々の身体機能やADL・IADLの評価指標からの効果を判定だけでなく、介護保険事業における保険者（行政）が考える効果とは何なのかも理解し、取

り組むことが求められていることである。今後総合事業サービスの更なる充実も予想される。そのためには制度の向かう先を念頭に置き、患者や利用者に向かう事が求められていると考える。そして現場においては、医療の中で達成しておくべきことや、その後の地域との連携の予測技術の研鑽、医療と介護の連携、各々の患者や利用者の「活動」と「参加」に向けた作業療法の提供を通して、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域包括ケアに、現場の積み重ねを通じた実績づくりに取り組み続けることが求められていると考える。

### さいごに

今回、糸島市におけるリハビリ専門職としての取り組みを報告した。糸島市の地域ケア会議は、福岡県理学療法士会へ委託され、リハビリ専門職の参加が開始された。参加に当たり、教科書がある訳でもなく、試行錯誤の中で取り組んでいる。一緒に出務に当たる福岡県理学療法士協会の方々からは、非常に多くの知識を学ぶ機会を頂けたことに深謝申し上げる。そして今後も職能団体の一員として、作業療法が地域のニーズに答える役割を果たせるように、専門性の研鑽を図りたいと考える。地域ケア会議に既に参加されている、もしくはこれから参加される会員の方々に、各市町村のやり方や事情の違いはあるものの、この報告のごく一部分でも参考になれば幸いである。

### 文献

- 1) 在宅医療・介護連携コーディネーター育成研修会テキスト, 2016
- 2) 在宅医療・介護連携コーディネーター育成研修会テキスト, 2017
- 3) 村井千賀:地域包括ケアシステム実現に向けた国の取り組み, 作業療法ジャーナル 49 (10):988-993, 2015
- 4) 谷川真澄:介護予防・日常生活支援総合事業と作業療法, 作業療法ジャーナル 49 (10):1000-1007, 2015
- 5) 佐藤孝臣:失敗しない地域ケア会議ー作業療法士の役割ー, 作業療法ジャーナル 49 (10):1013-1017, 2015
- 6) 厚生労働省ホームページ:平成28年版厚生労働白書ー人口高齢化を乗り越える社会モデルを考えるー, 2017.10/ (<http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/16/backdata/01-04-03-19.html>) (2017.10.参照)
- 7) 平成29年度二丈圏域介護予防ケアマネジメント研修テキスト, 2017
- 8) 平成29年度志摩圏域介護予防ケアマネジメント研修テキスト, 2017
- 9) 日本作業療法士協会誌, No.55:15-38, 2016

## 平成29年度 第3回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

- I. 開催日 : 平成29年8月7日(月) 19時00分～22時30分  
II. 場所 : 福岡医健専門学校  
III. 理事総数 : 20名  
IV. 出席理事数 : 18名  
V. 出席者氏名 : 志井田太一, 竹中祐二, 濱本孝弘, 中川昇,  
深町晃次, 青山克実, 深井伸吾, 手島智康,  
許山勝弘, 永田敬生, 大田登志樹, 玉野和男,  
轟木健市, 有久勝彦, 黒木勝仁,  
福田裕樹, 平岡敏幸, 佐藤稔(以上, 理事).  
吉田秀樹, 原口健三(以上, 監事).  
鐘ヶ江秀俊, 田邊慎一, 藤崎実知子(以上, 事務局)  
欠席者氏名 : 田中真純, 沖雄二, (以上, 理事) (敬称略)

### VI. 審議事項

1. 福岡県作業療法協会の将来構想について(志井田太一代表理事) →承認  
福岡県作業療法協会の将来構想について提案.
2. 研修会への会員派遣について(志井田太一代表理事) →承認  
地域ケア会議および総合事業における人材育成研修会に靱井剛氏と田中聡氏を第9回 JIMTEF災害医療研修ベーシックコースに古賀昭彦氏を派遣する提案があった.
3. 臨床実習指導者研修(中級・上級)福岡県作業療法協会推薦参加者について  
(青山克実教育部担当理事) →承認  
武藤美智恵氏を派遣する提案があった.
4. 総合福祉団体定期保険導入について(深町晃次福利部担当理事) →継続検討  
総合福祉団体定期保険導入について提案.
5. ハートメディア講演会に関する合理的配慮(手話通訳)について  
(永田敬生事業部担当理事) →承認  
ハートメディア講演会に関する合理的配慮(手話通訳依頼)について提案.
6. 「健康21世紀福岡県大会」の福岡県作業療法協会参加について  
(永田敬生事業部担当理事) →継続検討  
「健康21世紀福岡県大会」の福岡県作業療法協会参加についての提案.
7. ジャーナル「作業療法・福岡」第16号における執筆依頼について  
(有久勝彦学術部担当理事) →承認  
以下の執筆依頼について提案.  
特集 テーマ「生活不活発病を考える」  
竹中祐二氏(麻生リハビリテーション大学校)  
轟木健市氏(帝京大学福岡医療技術学部)
8. 日本作業療法士協会, 平成30年度協会功労表彰の選出について  
(手島智康規約委員会担当理事) →承認  
推薦者なしという報告があった.

9. 「第46回読売新聞医療功労賞」への当協会委員推薦と承認について  
(手島智康規約委員会担当理事) →承認  
推薦要綱を確認した上で当協会より、志井田太一氏と中川昇氏を推薦することの提案があった。
10. 現職者研修会の講師承認について (青山克実教育部担当理事) →承認  
以下の講師依頼について報告。  
鐘ヶ江秀俊氏 (ひなた家)  
長城晃一氏 (北九州リハビリテーション学院)  
河野修氏 (東和病院)  
平岡敏幸氏 (飯塚記念病院)  
平賀勇貴氏 (福岡リハビリテーション病院)  
靱井剛氏 (株式会社Rキューブ)  
久野真矢氏 (九州医療スポーツ専門学校)  
松野豊氏 (柳川リハビリテーション病院)  
大丸幸氏 (九州栄養福祉大学)
11. 第22回福岡県作業療法学会の講師承認について (有久勝彦学術部担当理事) →承認  
以下の講師依頼について報告。  
吉川ひろみ氏 (県立広島大学)  
岩永竜一氏 (長崎大学)  
竹林崇氏 (吉備国際大学)  
上城憲司氏 (西九州大学)
12. 第22回福岡県作業療法学会の市民公開講座講師承認について  
(有久勝彦学術部担当理事) →承認  
以下の講師依頼について報告。  
副島賢和氏 (昭和大学大学院 准教授)
13. ハートメディア講演会講師承認について (永田敬生事業部担当理事) →承認  
以下の講師依頼について報告。  
石田哲也氏 (久留米大学医学部神経精神医学講座助教)
14. 福岡ブロック研修会の講師承認について (黒木勝仁福岡ブロック担当理事) →承認  
以下の講師依頼について報告。  
深井伸吾氏 ((有)いきいきリハビリケア)  
藤本一博氏 (茅ヶ崎新北陵病院)  
坂井幸太氏 (おばた内科クリニック)  
松崎理佐氏 (ごう脳神経外科クリニック)  
黒木勝仁氏 (社会福祉法人 学術会サンシャインセンター)  
日高健二氏 (桜十字福岡病院)  
黒田隆之氏 (アイエック訪問看護ステーション)  
木村太郎氏 (通所リハ誠愛)  
松山拓史氏 (まえばる老健センター)  
白水京子氏 (介護老人保健施設カトレア)
15. 筑後ブロック研修会の講師承認について (轟木健市筑後ブロック担当理事) →承認  
以下の講師依頼について報告。  
坂口聡子氏 (コールメディカルクリニック福岡)  
中林紘二氏 (九州医療スポーツ専門学校 理学療法士)  
中島千鶴子氏 (認定作業療法士)

16. 北九州ブロック研修会の講師承認について（玉野和男北九州ブロック担当理事）→承認  
以下の講師依頼について報告。  
福田久徳氏(株式会社きゅうすけ)
17. 正会員の入会について（中川昇事務局長）→承認  
平成29年6月3日から平成29年7月28日までの間に78名の入会があった。

## VII. 協議事項

18. ハートメディア講演会のチラシ作成に関する業者選定について  
（永田敬生事業部担当理事）→承認  
三栄印刷株式会社，株式会社ミドリ印刷の2社に見積もり依頼したことの報告。  
協議の結果，三栄印刷株式会社に依頼する。
19. 福岡マラソンにおけるボランティア募集について（永田敬生事業部担当理事）  
→一部修正の上承認  
福岡マラソンの車いす競技におけるボランティア募集について提案があった。
20. 「福岡県作業療法協会表彰制度」への候補者の推薦について  
（手島智康規約委員会担当理事）→承認  
以下の候補者について提案。  
協会表彰候補者  
深町晃次氏(九州栄養福祉大学)  
田中真純氏(株らそうむ)  
榎本孝史氏(株モナトリエ・デ・フォレ)  
手島智康氏(九州医療スポーツ専門学校)  
功労表彰候補者  
室岡真弘氏(高木病院)
21. 第22回福岡県作業療法学会の印刷業者選定について（有久勝彦学術部担当理事）→承認  
中澤印刷株式会社，コロニー印刷の2社に見積もり依頼したことの報告。  
協議の結果，中澤印刷株式会社に依頼する。
22. 第22回福岡県作業療法学会の準備委員の選定について（有久勝彦学術部担当理事）  
以下の準備委員選定について報告。  
増田達也氏(飯塚記念病院)  
栗原将太氏(飯塚病院)
23. ジャーナル「作業療法・福岡」第16号の査読委員の増員について  
（有久勝彦学術部担当理事）→承認  
以下の査読委員増員について報告。  
松田隆治氏(帝京大学福岡医療技術学部)  
中村佳奈氏(福岡和白リハビリテーション学院)

## VIII. 報告事項（特記報告のみ記載。他，資料参照とする）

24. 代表理事行動について（志井田太一代表理事）  
平成29年6月～平成29年7月の代表理事行動について報告。
25. 県協会宛て依頼案件について（志井田太一代表理事）  
平成29年6月1日から平成29年7月31日までの間に県協会宛てに17件の依頼  
（研修会案内依頼6件，講師・委員派遣依頼6件，共催・講演依頼4件，その他依頼  
1件）があったと報告。

26. 災害対策について（竹中祐二業務執行理事）  
平成29年7月5日からの九州北部豪雨被害に対する福岡JRATの活動および災害時の福祉人材の派遣協定について報告。
27. 第1回九州作業療法学会について（有久勝彦学術部担当理事）  
学会の準備状況について報告。

#### IX. 次回開催日

平成29年度 第4回理事会  
日時：平成29年10月2日（月）19：00～  
場所：良創夢 リハビリスポーツガーデン



# 国際医療福祉大学大学院

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

福岡キャンパス（福岡県福岡市）

大川キャンパス（福岡県大川市）

---

### 医療福祉学研究科

**修士課程**

**保健医療学専攻**  
作業療法学分野／理学療法学分野／言語聴覚分野／リハビリテーション学分野／医療福祉教育・管理分野 など

**医療福祉経営専攻**  
医療福祉国際協力学分野／先進的ケア・ネットワーク開発研究分野／医療福祉学分野／医療福祉ジャーナリズム分野／医療通訳・国際医療マネジメント分野 など

---

**博士課程**

**保健医療学専攻**  
作業療法学分野／理学療法学分野／言語聴覚分野／リハビリテーション学分野／福祉支援工学分野／医療福祉国際協力学分野／先進的ケア・ネットワーク開発研究分野／医療福祉学分野／医療福祉ジャーナリズム分野 など

**修了者数**

修士課程 (平成12～28年度)	人数
■保健医療学専攻	1,650名
・作業療法学分野	116名
■医療福祉経営専攻	598名

博士課程 (平成15～28年度)	人数
■保健医療学専攻	253名
・作業療法学分野	10名



**主な教授陣**

●作業療法学分野	杉原素子教授	●理学療法学分野	丸山仁司教授
●言語聴覚分野	深浦順一教授	●リハビリテーション学分野	赤居正美教授

◆多くの授業を平日夕方以降と土曜日に開講。eラーニング科目も充実

◆福岡・大川・大田原・成田・東京赤坂・小田原・熱海に7つのキャンパスを設置

◆医療福祉における第一人者の講義を、複数のキャンパスで受講できる「同時双方向遠隔授業システム※」※専攻、分野によっては、受講できるキャンパスが限られているものがありますので、詳細につきましてはお問い合わせください

\* 修士課程は、短大・専門学校を卒業した満22歳以上の方も出願可能

2018年4月、東京赤坂キャンパス開設予定

**新設**

**医療福祉学研究科(分野新設)**

- ・災害医療分野
- ・遺伝カウンセリング分野

**医学研究科(研究科新設)**

東京都港区の旧赤坂小学校跡地に開設する東京赤坂キャンパスでは、現在の東京青山キャンパスを移転して、新たに「災害医療分野」、「遺伝カウンセリング分野」を開設するほか、公衆衛生学専攻と医学専攻からなる「医学研究科」の開設を予定しています。生涯教育の拠点として、大学院教育をさらに充実させます。

分野・領域についてのお問い合わせ・資料請求先

**国際医療福祉大学大学院**

URL <http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

<p><b>福岡キャンパス</b></p> <p>〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-4-16 TEL 092-407-0434 E-mail fukucamp@iuhw.ac.jp</p>	<p><b>大川キャンパス</b></p> <p>〒831-8501 福岡県大川市榎津 137-1 TEL 0944-89-2000 E-mail oocamp@iuhw.ac.jp</p>
--	---

【保健福祉部】

1. 報告事項

1) 活動報告

- (1) 29年度第4回高齢者支援ブロック実務者会議  
(筑後)
- ①日時：平成29年8月3日（木）  
②場所：いきいき安武デイサービスセンター  
研修室  
③出席者：濱本孝弘，原野裕司，永田博明，  
長野久雄，桑島俊明，石橋慎也，長野剛，  
恒松伴典，田中孝子，川添由加利，  
田中重徳  
④内容：自立支援ケア会議の活動報告，活動予  
定について
- (2) 29年度第5回高齢者支援ブロック実務者会議  
(筑後)
- ①日時：平成29年9月6日（木）  
②場所：いきいき安武デイサービスセンター  
研修室  
③出席者：永田博明，田中孝子，長野久雄，  
高山和規，桑島俊明，石橋慎也，長野剛，  
福島篤，川添由加利，田中重徳，長彰純，  
深井伸吾  
④内容：自立支援ケア会議の活動報告，活動予  
定について
- (3) 29年度第3回特別支援教育対策企画会議
- ①日時：平成29年9月11日（月）  
②場所：麻生リハビリテーション大学校  
③出席者：濱本孝弘，曾根川達司，  
渡邊直美，藤川貴子，鬼塚みゆき，  
武藤美智恵，濱田愛，長野清一郎  
④内容：アンケート結果，特別支援教育情報  
交換会報告，30年度の動きについて
- (4) 29年度第4回地域包括ケアシステム推進会議
- ①日時：平成29年9月12日（火）  
②場所：福岡医健専門学校  
③出席者：志井田太一，黒木勝仁，田中聡，  
黒田隆之，佐野功一，靱井剛士，長野久雄，  
玉野和男，平岡敏幸，轟木健市，永田敬生，  
生駒英長，真鳥伸也，深井伸吾  
④内容：地域包括ケアシステム推進，総合事  
業について

【教育部】

1) 研修会報告

(1) MTDLP基礎研修

- ①平成29年6月25日（日）：筑後ブロック  
講師：長谷麻由氏  
場所：介護老人保健施設アルファ俊聖  
4階大会議室  
参加者：25名  
②平成29年7月9日（日）：福岡東ブロック

講師：都甲幹太氏  
場所：水光会病院総合リハ・フィットネス  
センター2階

参加者：48名

③平成29年8月6日（日）：筑豊ブロック

講師：都甲幹太氏  
場所：飯塚記念病院  
参加者：23名

④平成29年9月3日（日）：北九州ブロック

講師：都甲幹太氏  
場所：小倉リハビリテーション学院  
参加者：27名

※今年度のMTDLP基礎研修（現職者選択研修）  
は終了しました。

(2) 老年期分野研修会：平成29年8月27日（日）

テーマ：「認知症の方と関わる上で大切にしたいOTの視点～基礎知識と，事例を通じた評価のポイント～」

講師：石川貴史氏

（社会医療法人共愛会 戸畑共立病院）

場所：ウェルとばた

参加者：57名

(3) 発達分野研修：平成29年9月3日（日）

テーマ：「ヒントをつかもう！～OTに大切な遊  
びの視点～」

講師：松本茂樹氏（ベルデさかい）

場所：リファレンス博多東

参加者：43名

(4) 精神分野研修会：平成29年9月16日（日）

→台風の影響のため延期（詳細は後日広報予定）

テーマ：「認知機能リハビリテーションと作業  
療法」

講師：大野宏明氏（川崎医療大学）

場所：リファンレンス博多東

2) 研修会予定

(1) 地域分野研修会：平成29年10月29日（日）

テーマ：「“患者”から“生活者”へ～その人  
らしい生活を構築するために～」

講師：吉川ひろみ氏（県立広島大学），

松本多正氏（楽々サービス），

吉田誠治氏（夢企画）

場所：都久志会館

定員：70名

(2) 現職者共通研修

第1回：平成29年10月21日（土）

13:30 受付，17:10 終了予定

場所：福岡和白リハビリテーション学院

第2回：平成30年2月17日（土） AM

場所福岡県立大学

(第22回福岡県作業療法学会と並行開催)

(3) 身体分野研修会(現職者選択研修) :

平成29年11月5日(日)

会場 : 聖マリア学園大学

定員100名

(4)MTDLP事例検討会予定

①平成29年11月5日 : 福岡ブロック

②平成29年12月3日 : 筑後ブロック

③平成29年12月17日 : 福岡東ブロック

④平成30年1月 : 筑豊ブロック

⑤平成30年2月 : 北九州ブロック

(5)MTDLP事例書き方研修会(事例登録研修会)

平成29年11月26日(予定),

平成30年2月25日(予定)

年2回実施予定

(6) 臨床実習指導者研修(中級・上級)

運営協力及び教会推薦者派遣

平成29年9月30日(土), 10月1日(日)

場所 : 佐賀県在宅サポートセンター

運営協力 : 田代大祐(国際医療福祉大学)

協会推薦者派遣 : 武藤美智恵

(ゆうかり医療療育センター)

<公2>

I. 広報誌 筑豊OT TIMES 第22号

平成29年10月15日発行予定

【北九州ブロック】

活動報告

<北九州ブロック>

ブロック企画会議開催

平成29年7月3日(月) 19:00~

(公社)福岡県作業療法協会事務所

平成29年9月4日(月) 19:00~

(公社)福岡県作業療法協会事務所

第2回北九州ブロック全体研修会

日 時 : 平成29年7月21日(金) 19:00~21:00

会 場 : 九州栄養福祉大学小倉南区キャンパス

テーマ : OT協会からみる職域の現状と今後の

拡がり~職能と学術研究の融合のために~

講 師 : 宮口英樹氏

(広島大学大学院医歯薬保健学研究科 教授)

参加者 : 48名

<小倉北・門司エリア>

エリア事業企画会議開催

平成29年7月11日(火) 19:00~

新小文字病院すみれ寮7階会議室

第2回北九州ブロック研修会

日 時 : 平成29年8月4日(金) 19:00~

会 場 : 北九州市立男女共同参画センター

ムーブ 大セミナールーム

テーマ : 旅を通じて生きるを支える

~介護付き旅行会社の取り組み

講 師 : 大関純平氏

(NPO法人 あすも特注旅行班 理学療法士)

参加者 : 53名

<小倉南・京築エリア>

エリア事業企画会議開催

平成29年7月20日(木) 19:00~

小波瀬コミュニティーセンター

<八幡西・遠賀・中間エリア>

エリア事業企画会議開催

平成29年7月31日(月) 19:00~

(公社)福岡県作業療法協会事務所

<八幡東・戸畑・若松エリア>

エリア事業企画会議開催

平成29年6月5日(火) 19:00~ あやめの里

<広報部>

広報誌「北九OTネットvol.25」発行

【福岡ブロック】

事業企画会議開催

平成29年7月19日(水) 桜十字福岡病院

参加者 : 12名

【筑豊ブロック】

<公1>

I. 事業企画会議

第3回 筑豊ブロック事業企画会議

日 時 : 平成29年8月21日月曜日

会 場 : 飯塚記念病院 参加者 : 10名

内 容 : 平成29年度筑豊ブロック研修会に  
ついて、他

II. 研修会報告

第2回 筑豊ブロック研修会

日 時 : 平成29年8月3日木曜日

会 場 : 飯塚記念病院

テーマ : 知っていますか?ユマニチュード

講 師 : 平岡敏幸氏(飯塚記念病院),

参加者 : 71名(学生2名)

生活行為向上マネジメント基礎研修

日 時 : 平成29年8月6日(日) 9:00~17:00

会 場 : 飯塚記念病院 グランドホール

講 師 : 都甲幹太氏(あやめの里)

参加者 : 23名

(台風5号の影響でキャンセル者多数)

<公2>

I. 広報誌 筑豊OT TIMES 第21号

平成29年7月15日発行

【今後の予定】

<公1>

I. 事業企画会議

第4回 筑豊ブロック事業企画会議

日 時 : 平成29年10月23日月曜日

会 場 : 飯塚記念病院

平成29年8月9日（水） 桜十字福岡病院

参加者：17名

平成29年9月14日（木） 桜十字福岡病院

参加者：15名

#### 広報部

1) 「Joy Style夏号」平成29年9月20日発行

2) Facebook：随時更新中

#### 教育学術部

1) 平成29年度 第2回 福岡ブロック研修会

テーマ：「生活リハビリの魅力」

講師：深井 伸吾 先生（作業療法士）

所属：（有）いきいきリハビリケア

代表取締役

日時：平成29年8月23日（水）

19：00～20：30

会場：ふくふくプラザ 501研修室

参加者：52名（うち作業療法士49名）

2) 平成29年度 福岡ブロック主催

地域ケア会議助言者育成研修会

日時：平成29年8月27日（日）

9：50～16：40

会場：リファレンスはかた近代ビル

105研修室

参加者：24名（作業療法士）

#### エリア部

福岡市南部地区エリア研修会

テーマ：「生活場面にそくしたリハビリテー

ション～半側空間失認を中心に～」

講師：松崎 理佐 先生（作業療法士）

所属：ごう脳神経外科クリニック

日時：平成29年9月21日（木）

19：00～20：30

会場：福岡市男女共同参画推進センター

アミカス 研修室B

参加者：9名（作業療法士）

平成29年度 福岡ブロック主催

第1回事例報告会及び事例検討会

日時：平成29年9月20日（水）

18：30～20：30

会場：九州大学病院

リハビリテーション部 研修室

参加者：発表者10名 聴講者12名

（すべて作業療法士）

### 【筑後ブロック】

〈公1〉

#### 事業企画会議

第3回 筑後ブロック事業企画会議

日程：平成29年8月21日（月）19：30～

場所：筑後商工会議所

**出席：10名**

2) 第1回 久留米地区（A地区）企画会議

日程：平成29年7月21日18：30～19：30

場所：高良台リハビリテーション病院

2) 第2回 八女・筑後地区（B地区）企画会議

日程：平成29年8月7日 18：30～19：30

場所：ジョイフル福岡大川店

**出席：6名**

3) 第2回 有明地区（C地区）企画会議

日程：平成29年7月3日18：00～19：30

場所：ガスト白金店

**出席：6名**

4) 第2回 朝倉地区（D地区）企画会議

日程：平成29年7月3日19：00～21：00

場所：甘木中央病院

**出席：5名**

5) 第4回 広報部企画会議

日時：平成29年8月27日

場所：WEB会議

**出席：4名**

#### 2. 研修会

1) 第1回分野別研修会

全体参加者数：96名

・身体障害部門

テーマ：運動器リハビリテーションにおける  
評価・治療について

講師：坂本 智洋 先生

（姫野病院 作業療法士）

参加者：47名

（会員40名 他職種3名 学生4名）

・地域・老年期障害部門

テーマ：地域包括ケアシステムについて

講師：小山 大作 先生

（神代病院 作業療法士）

参加者：22名

（会員22名 他職種0名 学生0名）

・精神障害部門

テーマ：精神障害領域における訪問サービスの  
役割

講師：村尾 眞治 先生（訪問看護ステー

ションReaf くるめ代表取締役）

参加者：20名

（会員18名 他職種0名 学生2名）

・発達障害部門

テーマ：重症心身障害児の訪問作業療法につ  
いて

講師：前波 有美先生（福岡療育支援セン

ターいちばん星 作業療法士）

参加者：19名

（会員16名 他職種2名 学生1名）

3) 八女筑後地区研修会

日時：2017年8月23日（水）19：00～20：30

場所：サザンクス筑後

テーマ：認知症の人への支援向上のために

講師：川島豊輝先生

(福岡県認知症介護指導者，株式会社  
パーソンサポート絆 代表取締役)

4) 筑後ブロック全体研修会

日時：平成29年9月10日 (日)

10：00～12：00

場所：エコサンク大牟田

講師：西岡 心大先生

(長崎リハビリテーション病院 栄養管理室  
室長 管理栄養士)

テーマ：「リハ栄養」

〈公2〉

1. 広報活動

1) Facebook広報実施

(1) Facebook活動報告

6/19：懇親会の締め切案内

6/24：親睦会報告

6/29：第22回福岡県作業療法学会ホームページ  
アップのお知らせ

7/4：障害者差別解消法を知るシンポジウム  
(7/29)

7/9：◆分野別研修会の報告◆

7/21：福岡OT協会 筑後ブロック全体研修会  
(9/10)

8/6：◆平成29年度 筑後ブロック役員紹介ムー  
ビーアップ

【今後の活動予定】

〈公1〉

1. 事業企画会議

1) 第3回 筑後ブロック事業企画会議

日程：平成29年10月16日19:00～

場所：筑後商工会議所

2) 第3回 有明地区 (C地区) 企画会議

日程：平成29年9月4日

場所：ガスト白金店

3) 第3回 朝倉地区 (D地区) 企画会議

日程：平成29年9月4日

場所：甘木中央病院

2. 事例検討報告会

①第1回：平成29年10月19日 (木)

場所：帝京大学福岡医療技術学部

②第2回：平成29年11月15日 (水)

場所：久留米リハビリテーション学院

③第3回：平成30年1月18日 (木)

場所：えーるぴあ久留米

④第4回：平成30年2月9日 (金)

場所：介護老人保健施設アルファ俊聖  
(甘木中央病院敷地内)

3. 研修会

1) 地域ケア会議助言者養成研修会

日時：平成29年12月3日 (日)

場所：筑後商工会議所

2) 久留米地区研修会

日時：平成29年10月20日 (金)

19：00～21：00

場所：えーるぴあ久留米

3) 朝倉地区研修会

日時：平成29年11月

テーマ：未定

講師：手島智康先生



## 社会医療法人青洲会 福岡青洲会病院

- 【募集職種】 作業療法士  
【募集人員】 1名  
【雇用形態】 パートタイマー職員  
【給 与】 時間給 1,360円  
【賞 与】 年2回  
【勤務時間】 応相談  
(原則8:30~17:30 休憩60分)  
【休 日】 応相談  
(原則 日曜日 祝日 年末年始)  
【福利厚生】 医療費補助 院内保育所  
【その他】 通勤費支給(上限5万円)  
【備 考】 災害拠点病院  
日本医療機能評価認定施設 213床  
〒811-2316  
福岡県粕屋郡粕屋町長者原西4-11-8  
T E L 092-939-0010  
F A X 092-939-2515  
メールfukuoka@seisyukai.jp  
担当:総務課 大和

## 福岡市医師会訪問看護ステーション

- 【募集職種】 理学療法士・作業療法士  
(訪問リハビリ)  
【募集人員】 若干名  
【雇用形態】 ①嘱託職員  
②常勤臨時職員 ③非常勤職員  
【給 与】 ①月額平均約25万円(諸手当含む)賞与・交通費支給  
②時給1,200円+出動料500円~1,000円/回+650円/回  
③出動料930円~3,560円/回+650円/回  
【交通費】 ①は1カ月上限5万円迄支給  
【勤務時間】 ①②月~金9:00~17:00  
土曜(隔週)9:00~13:00  
③時間内に直行・直帰可能  
【休 日】 日曜・祝日 8/14~8/15 12/30~1/3  
【その他】 ①②各種社会保険完備  
【勤務地】 東部:博多区千代 中部:中央区大宮 西部:早良区南庄  
【応募方法】 T E L 092-852-1512(まずはお電話下さい)  
一般社団法人 福岡市医師会  
在宅医療課/高橋・林  
(平日9:00~19:00 土曜9:00~13:00)



体に合った車いす・目的に合った車いす  
をご提供します  
車いす・介護用品・福祉用具レンタル



本社/福岡市中央区天神5-4-15  
営業本部/糟屋郡粕屋町仲原3丁目9-20  
TEL/092-938-2208  
HP/http://www.takisyokai.co.jp

# タキ商会

『対象者の言動は何が根拠になっているんだろう…』こんなことを日々考えながら、21年目の作業療法士が過ぎていきます。

今回は、そんな私がここ数年取り組んでいる個別アプローチ法をご紹介します。そのアプローチは、対象者の“思考や感情を形で表現する”という方法です。このアプローチを始めたきっかけは、当院が3ヶ月で入院患者の半数以上が退院をする精神科救急治療病棟を中心とした運用に変化した事で、パーソナリティー群の対象者と短期間でポイントを共有することが難しくなったからでした。

私が共有したいポイントとは、自己変化をするためのポイントで、それを対象者自身が自覚すれば、次の行動を自己選択する時の判断材料となるとの考えからでした。ただし、この自覚は短期間の作業で対象者自らが気付いていく事にあります。

そこで、取り入れたのが、私が入職当時から携わっていた、心理劇という心理療法の技法を引用することでした。もしかすると、経験年数の長いOTRの先輩方からは『今頃、心理劇なの』という声が聞こえてきそうですが、当院では主にアディクション病棟でH7年から継続して実践されています。

通常、心理劇は社会生活技能訓練（SST）と同じように、複数の対象者に数名のスタッフで構成されたロールプレイを行う療法です。SSTと大きく違うのは、焦点が認知や行動でなく、そこから生じる対象者自身の心の動きにあります。また、心理劇にも様々な技法があり、当院で主として用いているのが、劇中に生じた感情や思考を視覚的に理解できるように表現する外在化の方法です。

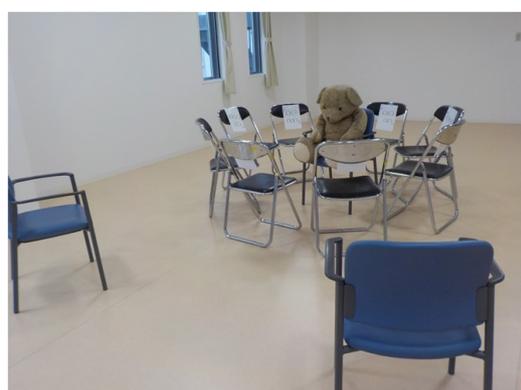
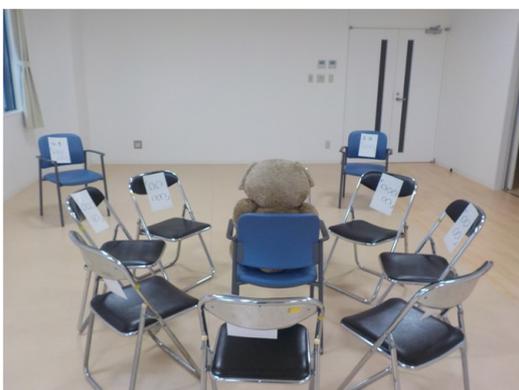
今回のアプローチにはこの“外在化”を椅子で表現する“エンプティージャー”という技法を用いることにしました。

この技法を言葉でお伝えするのは、なかなか難しいのですが、想像してみてください。

まず、椅子に座った自分がいます。そこに、左右3m程離れた場所に、自分の方を向いている空の椅子が1脚ずつあります。そして、自分と左右の離れた椅子との間には、膝が当たるほどの近い距離で、同じく自分の方を向いた別の空の椅子が、数脚、自分の周囲を取り囲むように配置されているとします。このような配置を1脚ずつ、なぜその配置（距離と向き）なのかを対象者に確認しながら作ります。上記の想像配置で説明すると、自分より遠くにある左右2つの椅子はストレスを感じている対象になり、よく挙がるのは仕事や家族です。そして、周囲を取り囲む複数の椅子はストレスを感じる対象への自分の感情や思考となります。さらに、それぞれの椅子には対象者がイメージする一言を紙に書いて貼っていきます。これで、ストレス対象への認知や自己の思考や感情を表現する“外在化の形”が完成します。椅子の配置は自由表現なので、決まりは無いのですが、なぜか自己の思考が自分に向くような表現が多いのが特徴です。また、形作りの過程で、対象者の「必要とされたい」「認めて欲しい」などの根源にある欲求の強さや大きさも知ることができます。

このような形を対象者と一緒に作り上げ、一緒に客観視します。そうすると、自分を苦しめているのは、自分の思考である事を自覚する発言が自然と対象者から表現されます。そこから、自分でその形を緩め、自己変化できることを体感した後、気付いた大切にしている考え（こだわりの考え）にネーミングをします。例えば、“上手くやりたい”という思考には“完璧太郎”というような感じです。これを2セッションで明確にし、対象者と共有できると、手工芸活動で自分の思い通りの作品に仕上がらずイライラした時や、家の掃除が不十分という不満を家族に言われイライラした時も「私、完璧太郎出てない？」というブレーキがかかり、怒りに任せた過度な行動を抑えることができます。使いこなすまでには、出来事が生じる度に面接を行い、ブレーキを使う練習を要しますが、慣れると「川上さん、完璧太郎が出たよ」と、笑いながらその時の状況と対処法を話してくれるようになります。

このような心理面へのアプローチも取り入れながら、対象者自身が自分の力で変化する様を楽しんでいます。



北九州中央病院 作業療法士 中村綾香

みなさま、はじめまして。北九州中央病院の中村綾香と申します。このリレーを回してくれた中野翔子さんとは、高校生からの付き合いで、私が作業療法士という仕事に興味を持つ機会を与えてくれたきっかけとなる人物です。今でも仕事帰りに食事に行き、プライベートで何かあれば電話し相談をする仲です。中野さんは一言で言うと、友達思いな人です。私は彼女の気遣いを相手に気付かせない所など、尊敬しています。しかし弱みを見せない所が裏目に出るので、心配になることがあり、そんな時はもう少し周りを頼ってほしいと思うのです。

私は北九州中央病院の回復期病棟で働いて5年目になります。対象者の方は自宅復帰する方が多く、朝起きてから寝るまでの入院生活をリハビリとして捉えるように心がけて担当させてもらっています。月日がたち尊敬する先輩方が職場を去って行き、自分が後輩に教えていく番となった時、私には大きな不安がありました。そんな時、周りには同期の仲間達がありました。時には励ましてもらったり、お互いの原動力となったり。今では仕事面だけではなく、精神面でも職場の同期に支えられています。

私は作業療法士として対象者により良いサービス・リハビリテーションを提供する為に、知識や技術の向上を目標としています。いつか家庭を持った時には、新たな経験を生かして、対象者の生活を考えたいです。これから理想とする作業療法士になる為に、自分の作業療法士としての色を出していきたいと思っています。



# 会員動向調査

調査期間 (2017. 6. 3~2017. 9. 1)

福岡県作業療法協会 会員数3,008名(正会員2,693名 自宅会員315名)

## <入会>

岡部 栞	北九州八幡東病院	: 2017年6月	大神 保乃香	穎田病院	: 2017年6月
高山 智加	戸畑リハビリテーション病院	: 2017年6月	園 けいこ	NPO法人 良創夢 らそうむ発達支援ルーム らいく	: 2017年6月
松野 璃咲	戸畑リハビリテーション病院	: 2017年6月	林田 智志	飯塚市立病院	: 2017年6月
玉川 綾	芳野病院	: 2017年7月	後藤 浩太	介護老人保健施設 きんもくせい	: 2017年6月
吉田 眞音	芳野病院	: 2017年8月	安永 彩香	高山病院	: 2017年5月
日高 実沙絵	北九州総合病院	: 2017年5月	小野 勝史	飯塚記念病院	: 2017年5月
宮原 優太	製鉄記念八幡病院	: 2017年7月	猿渡 薫	一本松すずかけ病院	: 2017年8月
吉田 隆徳	小倉リハビリテーション病院	: 2017年6月	秋山 絵吏	飯塚病院	: 2017年8月
松井 祐真	浅木病院	: 2017年6月	田中 大貴	川崎町立病院	: 2017年8月
秋武 祐生	福岡新水巻病院	: 2017年5月	森山 菜美	福岡病院	: 2017年8月
阿野 菜々美	製鉄記念八幡病院	: 2017年6月	黒木 穂奈美	岡部病院	: 2017年6月
久保田 賢治	新行橋病院	: 2017年6月	城戸 充	北九州古賀病院	: 2017年6月
後藤 一樹	日明病院	: 2017年6月	篠原 奈紗	日の里クリニック	: 2017年5月
笹原 可奈子	東筑病院	: 2017年6月	富松 健悟	北九州古賀病院	: 2017年5月
千々和 萌	福岡新水巻病院	: 2017年6月	森 智代	医療法人Y&K ブライカ	: 2017年7月
中島 帆南	大手町病院	: 2017年6月	齊藤 敏彦	福岡聖恵病院	: 2017年7月
平中 健	新行橋病院	: 2017年6月	木下 翔太郎	北九州古賀病院	: 2017年8月
三寺 利香	新王子病院	: 2017年6月	森 資裕	福岡聖恵病院	: 2017年8月
森本 美結奈	堤病院	: 2017年6月	中富 友美	川崎病院	: 2017年6月
和田 唯	浅木病院	: 2017年6月	水田 秀樹	障害者就労支援センター	
井出 葉月	正和なみき病院	: 2017年6月	今村 聡史	はあもにい	: 2017年3月
田中 菜実	介護老人保健施設 あやめの里	: 2017年5月	久保田 裕	植田病院	: 2017年6月
関 衣里	新小倉病院	: 2017年5月	田中 周子	久留米リハビリテーション病院	: 2017年6月
長友 優弥	株式会社リライブ リハデイ吉木	: 2017年5月	古賀 暢	松岡病院	: 2017年6月
嶋川 泰崇	戸畑リハビリテーション病院	: 2017年7月	平田 紘一	筑後市立病院	: 2017年5月
末藤 菜摘	大手町リハビリテーション病院	: 2017年7月	嶋口 由紀	筑後市立病院	: 2017年6月
木下 愛美香	おかがき病院	: 2017年6月	濱部 朱里	甘木中央病院	: 2017年5月
秋永 洋平	九州医療スポーツ専門学校		三坂 章太	新古賀病院	: 2017年6月
末次 政可	片野校舎	: 2017年8月	工藤 楓	高木病院	: 2017年7月
米光 毅	新生会病院	: 2017年7月	松原 瑚ノ羽	聖マリア病院	: 2017年7月
有働 智弘	新生会病院	: 2017年4月	井上 広子	米の山病院	: 2017年7月
岡田 菜摘	折尾病院	: 2017年7月	二田 真一	神代病院	: 2017年7月
後藤 正喜	新小文字病院	: 2017年7月	高山 双実子	柳川リハビリテーション病院	: 2017年7月
田中 慶祐	新生会病院	: 2017年7月	池田 友子	朝倉健生病院	: 2017年6月
森下 加菜	門司松ヶ江病院	: 2017年8月	河合 萌美	リハビリステーション らくら	: 2017年7月
萩原 成美	京町病院	: 2017年8月	西山 由莉	高良台リハビリテーション病院	: 2017年7月
浦崎 惇	日明病院	: 2017年8月	稗田 有眞	介護老人保健施設 こうわか苑	: 2017年8月
田渕 麻紀	北九州市立 門司病院	: 2017年4月	猿渡 香奈	古賀病院21	: 2017年7月
			森田 優貴	米の山病院	: 2017年7月
			山根 潤二	耳納高原病院	: 2017年8月
			廣橋 綾佳	嶋田病院	: 2017年8月
			福田 真紗子	聖マリア病院	: 2017年8月
			川添 香	米の山病院	: 2017年8月
				田主丸中央病院	: 2017年8月

\* 会報128号にて記載ミスがあり再掲

高山 友大	八女リハビリ病院	: 2017年8月			: 2017年4月
吉田 実樹憲	聖和記念病院	: 2017年8月			(聖マリア病院より)
池 美智子	香椎丘リハビリテーション病院		西田 幸代	柳川リハビリテーション病院	: 2016年4月
		: 2017年5月			
岡村 啓大	訪問看護ステーション アトラス			(柳川リハビリテーション病院デイケアセンター	
	福岡	: 2017年6月		より)	
小山 潔	自宅	: 2017年6月	宮原 里奈	高木病院	: 2016年8月
合屋 重信	桜十字福岡病院	: 2017年4月		(柳川リハビリテーション病院より)	
中並 愛	福西会病院	: 2017年6月	塚本 望希	おおかわ訪問看護ステーション	
橋本 美貴	誠愛リハビリテーション病院				: 2017年5月
		: 2017年6月			(高木病院より)
横山 浩康	福岡徳洲会病院	: 2017年6月	福田 賢二	訪問看護ステーション高良台	
渡辺 梨乃	福岡徳洲会病院	: 2017年6月			: 2016年10月
赤井田 将真	夫婦石病院	: 2017年6月		(高良台リハビリテーション病院より)	
池田 菜摘	桜十字福岡病院	: 2017年5月	片岡 美希	こぐま学園	: 2017年4月
草津 弓奈	雁の巣病院	: 2017年6月		(誠愛リハビリテーション病院より)	
田才 葵	桜十字福岡病院	: 2017年6月	中原 雅美	姫野病院	: 2017年4月
徳丸 栞	福岡リハビリテーション病院			(久留米リハビリテーション病院より)	
		: 2017年6月	松行 啓祐	株式会社 らそうむ 本店	
永吉 人望	福岡みらい病院	: 2017年6月			: 2017年4月
西井 彩佳	福岡みらい病院	: 2017年6月		(株式会社 らそうむ 飯塚店より)	
原口 琴羽	糸島こどもとおとなのクリニック		品川 怜子	良創夢 リハビリテーションセ	
		: 2017年6月		ンター	: 2017年4月
吉光 剛志	大木整形・リハビリ医院			(自宅より)	
		: 2017年6月	瀬戸口 いぶき	良創夢 リハビリテーションセ	
高倉 明日香	福岡リハビリテーション病院			ンター	: 2017年7月
		: 2017年6月		(良創夢 デイサービスセンター 飯塚店より)	
宮下 恵吏	千鳥橋病院	: 2017年5月	宮本 香織	良創夢 リハビリテーションセ	
日隈 優嘉	香椎丘リハビリテーション病院			ンター	: 2017年7月
		: 2017年6月		(良創夢 デイサービスセンター 飯塚店より)	
岩崎 叶恵	村上華林堂病院	: 2017年7月	手嶋 雄太	嘉麻 良創夢デイサービスセン	
岩下 史郎	誠愛リハビリテーション病院			ター	: 2017年8月
		: 2017年7月		(松岡病院より)	
吉村 洋平	福岡徳洲会病院	: 2017年5月	米丸 望美	一本松すずかけ病院	
原 竜生	福岡リハビリテーション病院				: 2016年11月
		: 2017年7月		(飯塚嘉穂病院より)	
中川 理絵	桜十字福岡病院	: 2017年7月	酒井 美彩野	想美福祉会 想美	: 2017年4月
岩崎 沙弥香	福岡豊栄介病院	: 2017年7月		(堀川病院より)	
岩本 凌	福岡記念病院	: 2017年7月	百武 浩	回生園 式番館	: 2016年10月
佐藤 晟矢	九州大学病院リハビリテーション				(春日病院より)
	部	: 2017年7月	山口 万利子	福西会病院	: 2017年5月
高橋 優香	福岡みらい病院	: 2017年6月		(福岡リハビリテーション病院より)	
福本 望翔	今宿病院	: 2017年7月	高島 香織	樋口病院	: 2017年4月
四田 真博	誠愛リハビリテーション病院			(聖マリア病院より)	
		: 2017年7月	蓑田 沙弥香	介護付有料老人ホーム フィラ	
本郷 栞	福西会南病院	: 2016年4月		ンソレイユ笹丘	: 2017年1月
吉田 麟平	川添記念病院	: 2017年8月		(博愛会病院より)	
新里 朋子	放課後デイサービス さかいの実		田代 大祐	国際医療福祉大学 福岡保健医	
		: 2017年8月		療学部	: 2017年4月
服部 友哉	川添記念病院	: 2017年8月		(高木病院より)	
古川 大将	福岡みらい病院	: 2017年8月	藤久保 美紀	株式会社 Denta Light	
					: 2017年4月
< 県内移動 >					(福岡大学病院より)
寺山 美穂	聖マリアヘルスケアセンター				

森松 明彦 千鳥橋病院附属 大楠診療所  
: 2017年5月  
(千鳥橋病院より)

小峠 政人 千鳥橋病院附属 大楠診療所  
: 2017年5月  
(千鳥橋病院より)

島村 彩 福岡山王病院 : 2017年4月  
(柳川リハビリテーション病院より)

佐々木 耕治 ライトセアセンターひかりの里  
: 2016年5月  
(介護老人保健施設 宗像アコールより)

品川 暢哉 福岡聖恵病院 : 2016年10月  
(新行橋病院より)

合屋 奈美 放課後等デイサービス  
いちばん星jump : 2017年5月  
(福岡療育支援センター いちばん星より)

伊地知 哲弥 やまびこ学園 : 2016年5月  
(新行橋病院より)

大野 正人 介護付有料老人ホームメゾンド  
・プレール通所介護プレール  
: 2017年6月  
(介護老人保健施設 御所 通所リハビリテーション つくし より)

小林 章悟 ヴィラノーヴァ 大谷  
: 2017年5月  
(小倉リハビリテーション病院より)

<退会者>

成富 志帆 : 2017年5月  
梅木 朋子 : 2017年5月  
塚田 佑亮 : 2017年5月  
永末 紫緒里 : 2017年6月  
筒井 亜衣 : 2017年6月  
西村 彬 : 2017年6月  
草野 和也 : 2017年6月  
宇都宮 しのぶ : 2017年6月  
三島 由布子 : 2017年7月  
片岡 亜季子 : 2017年7月  
佐藤 浩子 : 2017年8月

\*会員の皆様へ\*

これまで、会員の皆様の異動状況を会報にて報告してまいりましたが、「事務所へ報告はするが、会報への掲載は望まない」という要望もごございます。

異動等の報告の際、会報への掲載を希望されない場合は所定の用紙(異動届等)にその旨ご記入ください。

**異動の際の手続きについて**

職場・自宅等の変更のあった方は、必ず文書で県協会事務局へご連絡下さい。

協会ホームページ(<http://www.fuku-ot.org/>)へアクセスし、入会・異動・退会の項から届出用紙をダウンロードして下さい。

用紙に異動前・後の施設名、郵便番号、住所、電話番号を明記して下さい。自宅住所の変更もお忘れなくお願いします。

ご不明な点は、福岡県作業療法協会事務所までお問い合わせ下さい。

TEL 093-952-7587

**編集後記**

今月号の特集は「糸島市における自立支援型地域ケア会議への参加とその他の総合事業への取り組み」です。まえばる老健センターの松山拓史先生に御執筆いただきました。糸島市は福津市、嘉麻市、みやま市とならび、福岡県の地域ケア会議のモデル事業に特定されています。平成30年度から地域ケア会議は義務化されることとなっていますが、まだまだ地域によって実施状況に差があるのが現状です。地域ケア会議はPTやSTと協働しリハビリテーションチームとして進めていく必要があります。そのため、各地で他職種の連絡協議会が立ち上がっています。病院で勤務しているOTも地域や介護領域に目を向け、情報を収集していく必要があると感じました。病院に勤務していても地域のためにできることはあると思います。しばらくは地域ケア会議をテーマに特集を組む予定です。また、県協会サイトにも連絡協議会や地域ケア会議の情報を随時掲載していきますのでこまめなチェックをお願いします。

(許山)